



イオン<8267>、子会社のサンデー<7450>をTOBで完全子会社化



イオンは、東北地方でホームセンターを展開する子会社のサンデーをTOB（株式公開買い付け）で完全子会社化する。人口減少による市場規模の縮小などホームセンター市場を取り巻く経営環境が悪化しているほか、イオングループの東北エリアの事業は業績不振が続いており、一体的なマネジメント体制を築くことで両事業の立て直しを図る。

完全子会社化によって少数株主の影響を排除し、協業関係の強化や意思決定の迅速化を図る。具体的には、GMS（総合スーパー）とホームセンターを融合した新たな店舗形態の開発や仕入れの集約による原価低減、サンデーにおける食品事業の拡大などを進める。

サンデーはTOBに賛同し、株主に応募を推奨している。TOB成立後、同社は東証スタンダード市場への上場が廃止となる。

買付価格は1株につき1280円で、公表前営業日の終値1015円に対して26.11%のプレミアムを加えた。買付予定数は251万7495株で、下限は設定しない。買付代金は約32億2200万円。買付期間は2026年1月9日～3月4日までの36営業日。決済の開始日は3月11日。公開買付代理人は野村証券。

サンデーは1975年にサンダイヤーズマートとして設立し、翌76年に現社名に変更。2004年にジャスダック市場に上場（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。2006年にイオンが子会社化した。